大分合同新聞 平成30年6月22日

ま せんか

24の両日、 定員72人。県内の栄養教諭、管 日本の文化」 せは九州農政局県拠点(209 だ定員に余裕がある。問い合わ トがある。入場は無料。事前申 水省、九州農政局主催のイベン ルトホール大分で開かれる。農 林水産省、県など主催)が23、 7 • 532 • 6131) し込みは締め切っているが、ま 23 日 ▽シンポジウム「食べて学ぶ 大分市のJCOMホ

ンポな ど 各種

ら作る」上映会午前10時から。

▽シンポジウム「私たちの食

▽映画「カレーライスを一か

理がどのようにできているか学幸応氏や県内の伝統食研究者ら カレーライスを作った活動を撮 ニワトリを飼って材料を集め、 の学生が野菜を育て、食肉用の午後0時半から。定員300-影した映画。普段食べている料 定員300人。武蔵野美術大学 卓に生きる明治150年史| ▽講演会「和食文化を取り入 化などについて語り合う。

直道さんが「日本人の食文化」 が、明治維新による食生活の変 国立民族学博物館元館長の石毛 第13回食育推進全国大会(農 あすと24日の食育推進全国大会

る。

24 日

的な食文化の継承について考え 学院大学の酒井治子教授が乳幼 理栄養士らが、郷土料理や伝統 養士、保育士が対象。東京家政 児の成長に合わせた和食の食べ 午前10時から。定員72人。栄

れた子育て世代への食育推進

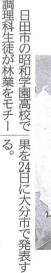
大分合同新聞 平成30年6月22日

させ方などをテーマに講演す

1 き田日 2 ŋ めし

昭和学園高生徒が盛り付け





産業を学ぶ取り組みで、成 あった。食を通して地域や 弁当」を学んで作る授業が

一付けごぼうや鶏肉、こんに が開発。丸太に見立てた味 の有志団体「ヤブクグリ」 弁当は2013年に市内

ノにした「日田きこりめし



佐々木美徳代表(左から2人目) り付けの出来上がりを見てもら)に盛

弁当を販売する宝屋

内元町)の佐々木美徳代表

(55)が開発の経緯や込めた

さん(51)が企画。授業には ドプロデューサー神谷禎恵

2年生35人が参加した。

ザインなどの全国コンクー を使った容器に詰める。 ゃくなどを日田杉の間伐材

ルで受賞している。

取り組みは宇佐市のフー

のシンポジウム「私たちの ってもらいたい」と話した。 食卓に生きる明治150年 国大会(23、24日·大分市) があることを多くの人に知 た。日田にこんないいもの は「開発までの努力を感じ をした。 待鳥愛美さん(16) 思いを説明。生徒は用意さ れた具材で弁当の盛り付け 生徒の代表は食育推進全

大分合同新聞 全面広告 平成30年6月22日



大分合同新聞 全面広告 平成30年6月22日

